

4月より、斎藤前館長からバトンを引き継ぎ、安曇地区の公民館長を務めることになりました。島々に在住の上條でございます。

去年42年ぶりに故郷に帰り都会の喧騒から離れたこの故郷をじっくり見ることが出来ています。私が都会で暮らす間に故郷に帰るのは、山に登る時とお盆正月くらいで、40年前の時から変わりゆく地域の方々が、一人また一人と亡くなつてゆく寂しさを感じていました。

公民館長としてこの2ヶ月余り、いくつかの行事に参加させていただいたら、学校関係の方々と話をしたり、会議

安曇公民館長  
上條 敦重

ごあいさつ



● 安曇地区 ●
749世帯
男女
835人
825人
合計 1,656人
H27.5.1現在

に出たりする中で色々な思いが頭をよぎつけています。

地域の課題も皆さんご承知のこととご推察致します。

そのような状況での公民館活動は、守備範囲も広がり積極的に地域課題に取り組む指

導が研修でも示されています。その為に支所、福祉ひろばと連携して、地域づくりセンターとして地域課題に積極

的に取り組み、成果を上げる

ように求められているのが今

の現状です。自然エネルギー

講座や回覧でもご承知の小水力発電事業へも関わり、地域活性に繋がる事業に参加する

ことなど多様な形であります。地域づくりの一助となるべき守備範囲が求められ、今まで

の生涯教育活動の講座に、課題に取り組む講座をプラスした形が、松本市の公民館活動の方針です。

前館長がテーマに掲げた、地域の絆を継承しながら、行政だけでは中々手の届きにく

い細かい部分のコーディネー

一緒に考え、学び、楽しめる講座活動や行事を催していくつもりでございます。

幸いに地元に辛口の友人達もあり、彼らや先輩の方々に叱咤激励されながら精一杯仕事をさせていただきます。

主事の青柳君や、新任の大橋さん共々、宜しくお願ひ致します。

前日、長野県は警報が出る程の大雨でしたが、当日は雨もなく、気持ちは約800本の桜並木をウォーキングできました。昼食は小布施町に移動し、栗おこわ弁当を堪能しました。

次回のウォーキングは7月に予定しています。皆さん、ぜひご参加下さい。

## 4/14 春のぽかぽかウォーキング

### 市民歩こう運動事業

●お知らせ●  
安曇基幹集落センターの鍵の取り扱いが変わりました!

備え付けてあるキーボックス

- ・安曇支所窓口で利用申請を行った際にキーボックス番号を聞く。
- ・施設のキーボックスから鍵を取り出す。
- ・利用後、ボックスに鍵を返却して施錠する。
- ・ポストに入っているチエック表に記録し戻す。
- ・不明な点は安曇公民館まで  
(不明な点は安曇公民館まで  
94-12301)



### 島々谷の桜



今年は例年より少し早く満開になつた、島々谷のソメイヨシノ。途中の雨と風により、かけ足で散つてしましましたが、大勢の方々が花見に訪れ、今年は外国人の方もたくさんお見えになりました。



# 北アルプスに現存する 最古の山小屋!

# 徳本峠小屋

文化財シリーズ No.4



徳本峠小屋は、大正12年に峠に開設された山小屋で、上高地とその周辺の山小屋の中で最も早期のもので、多くの登山家が利用してきました。平成21～22年に大がかりな改築が行われましたが、約1/3部分は大正時代に建てられたまま保存されており、今も現役の山小屋として使われています。木造平屋建、桁行5.4m、梁間5.1m、屋根は切妻造の石置板葺で、内部は板敷一部が土間となっています。

平成23年10月28日に国の登録有形文化財に指定された歴史的にも大変貴重な建物です。この峠を越えて上高地に入つたという歴史ある登山道です。

徳本峠登山道は、梓川支流・島々谷と上高地との間を結んでいます。その歴史は古く、鎌倉時代から信濃と飛騨を結ぶルートとして使われてきました。昭和8年に、中の湯から上高地への自動車道が開通するまでは、上高地へ入山するメインルートとして使われ、「日本アルプス」の名前を世界に紹介したW・ウェストンもこの峠を越えて上高地に入つたとい

うです。

徳本峠登山道は、梓川支流・島々谷と上高地との間を結んでいます。その歴史は古く、鎌倉時代から信濃と飛騨を結ぶルートとして使われてきました。昭和8年に、中の湯から

## 4/27 第47回 上高地開山祭

### 安曇地区地域づくりセンター

### 職員一覧

今年の開山祭は晴天に恵まれ、河童橋の周辺には約3千人の観光客や登山者、関係者が集まりました。青空に白く映える北アルプスを眺めながら山の安全祈願と、春の訪れを祈りました。

● 安曇地区地域づくりセンター	● 上高地観光施設業務
センター長 齋藤 敏男(主幹)	坂上 暢慶(支配人)
課長補佐 高松 丑郎(主査)	吉畑 良波(副支配人)
百瀬 徹(主任)	和紀(嘱託)
貝渕 範子(嘱託)	由子(嘱託)
奥原 恵美(嘱託)	優美(主事)
	大橋佳代子(嘱託)
	雄大(主任)
	初代(事務員)
	川上 正文(支配人)
	緒方 真(副支配人)

▶祝酒がふるまわれました



● 山岳観光課
課長 加藤銀次郎(参事)
課長補佐 高山 昇(主査)
課長補佐 牧羽 文武(主査)
係長 前田 塩原 裕之(主査)

● 文化財課
課長補佐 加藤 明日美(主任)
文化財担当 小林英幸(主幹)

● 安曇地区福祉ひろば
専任 関係
館長補佐 高松 丑郎(兼任)

● 安曇公民館
館長 上條 敦重(嘱託)
高松 丑郎(兼任)

◆ 公民館報編集委員会
百瀬 奥原 佐藤 阿部 文章
赤穂 有馬 筒木 奥原 高一
武美 展代 由里 小日向 審志
大野川(橋場) 岛々川(橋場) 稲垣 鈴蘭 沢渡 骨 白骨

◆ 安曇公民館
○ 嘱託
○ 館長 上條 敦重
○ 主事 青柳 和幸
○ 嘱託 大橋佳代子
○ 駐在員 高橋佳代子
○ 嘱託 大野田 深澤
○ 嘱託 青柳 和幸
○ 嘱託 加藤 文章
○ 嘱託 大橋佳代子
○ 嘱託 阿部 寛志
○ 嘱託 奥原 高一
○ 嘱託 佐藤 寛志
○ 嘱託 文章
○ 嘱託 奥原 寛志
○ 嘱託 阿部 寛志
○ 嘱託 奥原 高一
○ 嘱託 高橋佳代子

上條亮(主査)	小松由子(嘱託)
吉畠和紀(嘱託)	雄大(主任)
坂上暢慶(支配人)	優美(主事)
古畑満(支配人)	大橋佳代子(嘱託)
奥原正文(支配人)	高橋佳代子(嘱託)
川上初代(事務員)	佐藤和幸(嘱託)
緒方真(副支配人)	佐藤寛志(嘱託)
	佐藤高一(嘱託)